

安全通信

Vol.150

令和8年8月号

自然災害への備えをしよう

地震や豪雨などに備え
情報収集や発生時の対応を決める

夏季は台風、ゲリラ豪雨、雷などの自然災害の危険が高まる時期です。また、震度5以上の地震も各地で発生しています。

これらの自然災害では、足場の倒壊や法面の崩壊、河川の増水など、大きな被害をもたらすことも少なくありません。これらの災害の発生を防ぐことはできません。しかし、日頃から備えをして、被害を抑えることはできます。

台風など、事前に進路や接近時期が予測できる災害では、足場や資機材の養生、飛散防止対策を行うことで被害を最小限にすることができます。作業開始前には天気予報や気象警報を確認し、危険が予想される場合には早めに作業計画を見直しましょう。一方、地震やゲリラ豪雨など突然発生する災害では、まずは作業を中止し、自分の身を守ることを最優先しなければなりません。緊急時に求められるのは、自分の命を守ること、二次災害を防ぐこと、そして互いの安否を確認することです。平素から緊急対応マニュアルや避難場所、連絡体制を確認し、いざという時にも落ち着いて行動できるよう備えておきましょう。

今月もご安全に！

安全教育センター

自然災害発生時は、命を守る行動を！



自然災害時の行動原則

- ① 自分の命を守る
- ② 二次災害を防ぐ
- ③ 互いの安否確認